

吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63883-2211
FAX (06) 63882-8160
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

政治を変えよう！

選挙に行こう！

千里丘支部・支部集会

最初に国保の統一化問題で意見を出し合いました。Nさんから「統一化されてこれ以上値上げされたり、減免ができなくなったら本当に困ります。」と意見が出され、Aさんからも「とんでもないことだと思いません。絶対反対していかないとダメですね」と統一化に向けて怒りの発言が続きました。選挙の話し合いでは、今度の選挙で自分にとって何が一番関心があるかなど話し合いました。Hさんは「野党が共闘して統一候補ができたことで政治が変わりそうな気がします。」Kさんは「戦争法が昨年、あのようになり決まり私たちはもちろん子供たちの世代が心配。」また「消費税が増税されてから景気が悪くなっていると思う。」など話されました。



他の会員からも平和や営業と暮らしを何とかしてほしいと声が上がっており、戦争法の廃止や消費税増税を断念させるためにもとても大事な選挙ということを参加者が感じることができ話し合いになりました。

参議院選挙にあたって会員からご意見をお聞きしました。

千里山支部 Sさん (行政書士・社労士)

仕事柄、建設業の方のお付き合いが多いのですが、売上が落ち込んでいらっしゃる方が多いです。アベノミクスは失敗ではないでしょうか。マイナンバー制度は遺憾に思っています。私は極力取り扱いません。パートに行っている方が、マイナンバー制度のため辞めていっています。購買力が落ちているような気がします。経済に悪影響を与えているのではないですか。マイナンバー制度廃止で頑張っている日本共産党に期待しています。

片山支部 Sさん (美容室)

安倍さんのやっていることは全部ダメです。外交のことでも安保法制なんて安倍さんがやりたかっただけ。あれは許せない。舛添さんのことだって、辞めたからそれで終わりなんておかしい。それでも追求しようとしたのは共産党だけ。他のところは辞めたからそれで幕引きなんて信じられない。結局自分に跳ね返ってくるのが怖いのでしよう。舛添さんは結局退職金もらっているなんて、本当なら議会在が辞退するように勧めるのが当たり前。絶対おかしい。

造園業務の改善を求めて

吹田市へ2回目の申入れ

吹田民商は7月1日吹田市に対して「吹田市造園業務に係る緊急要望並びに懇談の申し入れ」(その2)を行いました。6月24日には関係業者の対策会議を行い申入れ内容を確認しました。国は「平成27年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針(平成27年8月28日閣議決定)」を定めています。ここでは「ダンピング防止対策」として、① 適切な予定価格の作成 ② 低入札価格調査制度の適切な活用等が提起されています。吹田市の場合は、「工事」の部門では対策が立てられています。造園のような「役務」では行われていませんでした。そのため、民商はこの機会に抜本的な改善を求めています。主な内容を紹介します。



(1) ダンピング問題への対応について

① 現在の事態を「ダンピング」と認定し、是正対策の第一歩として「吹田市はダンピングを容認しない」との姿勢を強く関係者に打ち出していきたいこと。

② 来年4月実施を目前に、国も推進している「低入札価格調査制度」若しくは「最低制限価格制度」を導入していただくこと。

(2) 市外事業者の流入制限について

① 市外事業者の登録基準を設定していただくこと。その際は、吹田市産業振興条例や他市の先進例を参考にさせていただくこと。

(3) 市内本店業者の受注機会の増大について

① 「吹田市契約の相手方の資格及び選定方法に関する規定」では、第8条で「市内に本店を有する者」と明記され、市内本店業者優先を位置づけています。ダンピング問題や市外業者の急激な流入が問題になっている現在、この規定を具体化する手立てを講じていただくこと。

② 地元造園業者が資本金や総職員数等の要件を満たさないことで地元造園業者が指名入札の参加から除外されています。これでは、個人業者や低額な資本金額の小規模事業者を育成することにはなりません。早期に改善を図っていただくこと

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民と市民と！